

【注目商品情報】株式会社昭文社 ニュースレター

- 今回は「ウंचク系情報地図帳」特集をお届けします -

2020.11.16

Topics - 2020.11

<https://www.mapple.co.jp/>

今月の注目出版物を
3点、お知らせいたします。



大迫力！地図屋の本気鉄道地図！

『レールウェイマップル 全国鉄道地図帳』



創刊18年のロングセラー地図帳シリーズ！

『なるほど知図帳 世界2021／日本2021』



「いま」の鉄道路線の旅を楽しみながら「むかし」にも想いを馳せる。
時空を超えたバーチャルトリップが楽しめるマストバイ鉄道地図帳！

- 商品名：『レールウェイマップル 全国鉄道地図帳』 -

大迫力！地図屋の本気鉄道地図！

～日本全国の路線・駅を収録した、本格鉄道地図帳～

)) 本書の特長 ((

大迫力の地図上に、現役鉄道路線全路線を掲載、全駅をルビつきで表示しています。

「車窓景観の地理的解説」「単線複線」「トンネル・橋梁」「鉄道遺産」など、「いま」の<鉄旅>を楽しむ情報も豊富に収録。

現在の鉄道事情と過去からの変遷が同時に楽しめる情報・資料が満載。

全428ページの豪華保存版、「日本の鉄道」を堪能できる一冊です。

)) 主な掲載内容 ((

|| 大迫力の地図で、日本全国を一冊に。

縮尺1：250,000を全国一律（北海道地域は1：300,000、離島地域は1：350,000）で収録。日本全国を収録している鉄道地図帳のなかでは、他に類を見ない大きな縮尺です。

鉄道がない離島地域もおおよそ収録しているため、「日本全図」としても活用できます。

|| 現役鉄道路線の全路線を収録。

信号所や車両基地、鉄道博物館などの鉄道関連施設や、ロケ地や景観などの情報は多彩なアイコンでプロット。また、鉄道路線や施設はもとより、地理的視点による考察なども解説コメントとして掲載しています。圧倒的な情報量で、非常に見ごたえのある誌面です。

鉄道施設 景観 付属情報	車両基地 車両製造工場 信号場・信号所 廃止	鉄道橋 鉄道トンネル 鉄道建造物 廃線	鉄道博物館 鉄道記念館 鉄道記念碑 ロケ地	車両展示 その他鉄道施設
--------------------	---------------------------------	------------------------------	--------------------------------	-----------------

廃線跡 （鉄道土木遺産）	撮影ポイント 鉄道土木遺産	重要文化財 登録有形文化財 近代化産業遺産	現役鉄道路線・駅の解説 廃止路線・駅・施設の解説 鉄道関連施設の解説 車窓地理・景観の解説
地景ポイント		駅直道 鉄道記念物	



<『レールウェイマップル 全国鉄道地図帳』A3ポスター>



)) 商品概要 ((

体裁・頁数：B5判、本体428頁

発売日：2020年11月27日

全国の主要書店で販売

定価：3,200円＋税

レールウェイマップル 全国鉄道地図帳のもうひとつの魅力！

～戦後75年の日本の鉄道変遷史を網羅的に辿れる貴重本～

))「いま」の地図に廃線跡を重ねることで「時空」を超えた旅を誌上でもリアルでも！(

1945（昭和20）年の終戦以降に廃止となった鉄道路線を地図上に表示。かつての路線網の充実ぶりに驚かされます。各廃線にも解説コメントを添えるのはもちろんのこと、歴史的価値の高い建造物や橋梁、隧道（トンネル）などの遺構群のプロットにも注力。日本の発展とともに歩んだ鉄道の歴史を、地図を辿りながら読み解きます。



廢止路線

全国各地まで鉄道網が
発達していた昭和・平成の時代。
地域産業の変化や
それぞれの事情を考察し、
廃止路線の軌跡を辿る

1945年(昭和20)の終戦から、荒廃した国土と産業の再生を担った物流・旅客輸送の主役は鉄道であった。その後朝鮮戦争による特需期から復興期にかけて、様々な役割を持った鉄道路線網は、今日では信じがたいほど全国隅々までを結んでいた。国鉄の幹線からローカル線、更に地方私鉄や軽便鉄道が連絡し、全国にわたる場所へは鉄道で行くことができた。

貨物輸送も鉄道の大きな役割のひとつである。生活必需品や土地の産物、産業用物資などが産地から港や工場・都市へと輸送され、いっぽう都市から地方へは新聞雑誌・雑貨などの文化や製品が全国規模の鉄道ネットワークにより運ばれていた。

国が全国路線の鉄道ネットワークをほぼ完全に路権放棄した。しかし昭和30年代に入ると自動車普及と道路整備が進み鉄道輸送量は年々減少。産業構造の変化に加え、鉄道も新幹線を主軸とした旅客輸送体系へと移行する。合理化の名のもとに赤字ローカル線の廃止、貨物輸送の縮小が行われ、1987年（昭和62）のJR発足後は全国規模のネットワークから地域主体の交通への次第に姿を変えていった。

本誌の地図には、戦後日本の発展を支え、消えていった多くの鉄道路線が描き込まれている。地図ではただ1本の黒い線ではあるが、その路線が結んだ町や村、運んだ多くの人やモノ、線路に託した人々の夢や希望を想像しながら、鉄道が輸送の主役であった時代を辿ってみよう。

「赤字」で廃止になった路線は多い
「時代の流れ」で消えた路線も多い

CASE 赤字ローカル線

国鉄の赤字ローカル線は1968年(昭和43)に国鉄諮問委員会により廃止を促す「赤字83線」が選定されたが、反対も多く実際に廃止された路線は少なかった。その後1981年の国鉄再建法に基づき、あらためて廃止対象特定地方交通線として第1次から第3次まで計83線区約3,150kmが選定、今度はその多くが

路線またはバス転換となっていく。
 地方私鉄においても昭和30年代からバストラックへのシフト、自家用車の普及で収支が悪化、路線・バス転換の選択を行った路線が多くな。国鉄線の貨物廃止により貨車の連結輸送が途絶えたことが原因で



1980年に水戸線、宇都宮線、両毛線



CASE 2 炭鉱の鉄道

昭和の半ばまで主力エネルギー源であった石炭。北海道と北九州には多くの炭坑が石炭輸送のために敷設された。北海道では夕張線は夕張炭坑から釧路へ向けて、阿本の炭坑線が枝分かれする炭坑が見られ、炭坑から釧路の町へ便乗して東京輸送を行っていた炭坑もあった。石炭を積みだす貨車は国鉄線に集められて数十分の長距離をなりと小樽へ空輸に運ばれていた。九州豊後地区には比較的小規模な炭坑が分布し、網の目のように張り巡らされた路線から主に若松の港へ運ばれていた。昭和30年代後半からエネルギー政策の転換が行われ、多くの炭坑が閉山の運を歩みはじめた。炭坑の町も炭坑も急激な変化をもとめていた。



北海道のJR線では最後まで走った石炭列車は、戸別・赤平の炭鉱から江別への火力発電所への輸送を担っていた。MAP 13 C-4

江別にあった火力発電所への専用線。発電用の燃料に用いた石炭が石炭列車で運び込まれる。MAP 8 G-5



CASE 3 貨物専用の鉄道

地方の山間地に敷設された鉄道には鉱石などの物資輸送を主な目的とした路線が多い。石灰石や鉄鉱石などの重い物資の大量輸送に普及するまでは全国各所に専用鉄道や貨物線、私鉄路線が存在した。専用鉄道の中には関係者の家族や沿線住民の便宜のための定期貨物輸送を行っている者もあったが、自動車が普及するに従って次第に廃れていく。輸入原料へのシフトや産業構造の転換が進み、鉱山や工場が廃止・業態転換されると鉄道の近所まで生じる需要が多数を占めるが、積み荷の特殊性などから比較的に近年まで生き延びた路線もある。



小浜駅では旅客営業の廃止後は貨物専用となり小浜積造所で生成される副産物の濃硫酸をタンク車で輸送。重量貨物列車を幹線区間は機関車3台で牽引した。

MAP 33 D-6

石灰石やセメントも多く、の貨物列車で運ばれ、各地にセメント工場用の貨物線があった。写真は専用貨車が並ぶ佐世保セメント田村工場。格闘東大越駅から専用線で伸びている。

MAP 56 D-3

CASE 4 役目を終えた鉄道

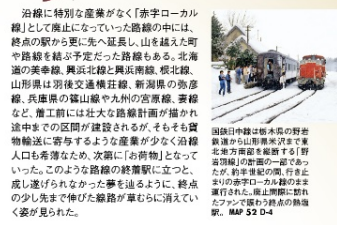
廃線の事由として最も多いのは沿線の産業衰退や人口減少、自動車交通へのシフトであるが、とりわけ信濃新線の開通や地下鉄化によって沿線からの乗客と客貨が激減した。琵琶湖の西側を走っていた上越新線は、完全に並行する国鉄湖西線の建設が決まったことで廃線を選び用度を提供した。全線ではないが京都の京阪京浜線は地下鉄乗り入れに伴い、併用軌道を含む区間を廃止している。また連絡する路線や軌道の廃止・変動で間接した廃線には、北陸鉄道加南線、兵庫県別府連絡、岡山の下津井間連絡などが挙げられる。



ホーム端の改札を出ると和歌山への高速船・フェリー乗り場があった小松島漁港。急行列車も発着していた。M&P 125 B-5



CASE 5 夢を見た鉄道

[illegible]

路面電車の 発展・廃止・復活

●堀切邦生
(日本路面電車同好会会員)

日本に最初に電車が走ったのは1890(明治23)年3月、東京で日本初の鉄道自動運転装置によって東京電機がアグリから持ち込んだ電車をモーター車として運行させたことに始まる。これにより電車が日本の鉄道全土に運ばれ、15年後の1905(明治38)年には、日本初の電線式有軌電車として、東京市電が誕生した。この最初の電線式有軌電車は、その後東京市電が前身となる東京市電が、1932(昭和7)年に65両まで増え、約1,500kmの路線を走達した。大戦後には復興とともに乗客急増に伴って昭和の年代に入ると道路式有軌車としての性能向上、さらにモーター車による道路路線の増大に伴い、日本有軌電車は定時運行を期しなくなったこと、乗客の行動能力が高まり「時代的変遷」という乗り物が付きまとい、後には大衆の乗り物に遠くつなぐこと。このような乗り物の発展と、戦後の高度経済成長に伴う人口急増と人口密度の高まり、昭和50年代前半には有軌電車による交通手段としての動きが出たため、ひとりでいうと、乗り場として東京市や宇都宮高等の市に新たに電線を敷設することが出てくる。



うに新たに路面電車を敷設するところも出てきている。



長年に亘った(左から)仙台、東京、小田原の路面電車。各地の路面電車は廃车に処され、別当の道路建設に専念する

止になった後、別々の動作に移り再度流
露した車両もしい。豊橋や岡井、広島
や高知などで他都市からの車両を見るこ
とができる。写真・堀切邦生 MAP 198

広島県電鉄は日本における路面電車のリーディングカンパニー。同社が1999（平成11年）から導入している「リアプリー」対応の電車は路面電車で広島市の主幹をなしている。よみとタイリッシュとならぶ5200形は2019年から第2、第3号車投入開始 MAP 167

今がわかる！ニュースがわかる！＜世界地図帳＞の決定版。
今年はパンデミック史 & アフターコロナを世界的視野で大特集！

- 商品名：『なるほど知図帳 世界 2021』 -

創刊18年のロングセラー地図帳シリーズ！

～話題性抜群の巻頭特集と定評あるレギュラー企画、充実の世界地図～

)) 本書の特長 ((

世界の情勢をテーマごとに、＜地図的＞に紹介した＜情報系＞
世界地図帳の2021年最新版！

気になるTOPICSやKEYWORDの解説、DATAを基にしたグラフ
やランキングで、詳しい情報を分かりやすく解説。

テレビや新聞、Webの情報では捉えにくい、俯瞰的な視点、一
望で把握できる見開き構成が、さまざまな話題とその背景への理
解を手助けします。

今回は新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに伴う新常態を
世界比較で視覚化した企画や、過去のパンデミックの歴史を図示
した企画など、今年ならではの話題を総力を挙げて徹底特集。

レギュラー企画ページも今知っておきたいニュースや話題、44テーマ
を厳選しアップデート。

激動の2020年代を生きていくための必読書です！

)) 主な構成 ((

|| 巻頭スペシャル 世界の重大ニュース総ざらい！2020-2021TOPICS

|| 特集1 新型コロナウイルスの脅威とアフターコロナの世界

|| 特集2 世界を渡る感染症 人類を脅かした過去の事例

|| 国際情勢

|| 紛争と領土問題

|| 社会

|| 産業・資源

|| 自然・地理

|| 旅行・世界遺産

|| 各国要覧

|| 世界地図



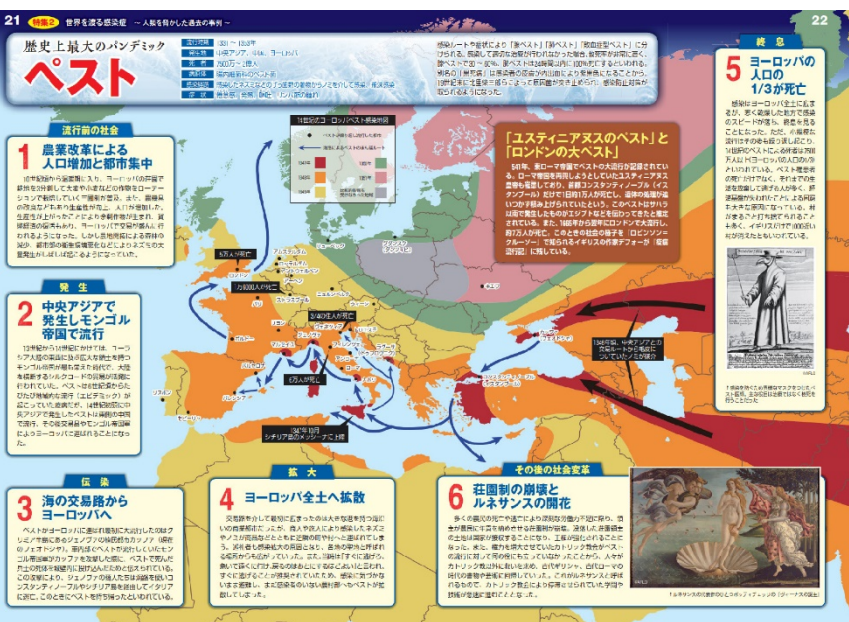
)) 商品概要 ((

体裁・頁数：A4判、本体256頁

発売日：2020年11月25日

全国の主要書店で販売

定価：1,600円＋税



<日本>の今を知り、時代の流れを読み解く地図帳。今回は「東日本大震災からの10年」と「withコロナで変わる日本」を特集！

- 商品名：『なるほど知図帳 日本 2021』 -

世界編とセットで読めば今年話題は完ペキ！

～4つの巻頭特集と怒涛の53テーマ、更に県勢一覧と日本地図も～

)) 本書の特長 ((

政治・社会、生活、経済・産業、自然・科学、文化・歴史・スポーツなど、日本の様々な最新情報をテーマ別に解説した<情報系>日本地図帳の2021年版。

気になるニュースの背景を、豊富な図表と最新のデータを使った見やすいビジュアルデザインでわかりやすく紹介します！

)) 主な構成 ((

|| 巻頭スペシャル

世の中の動きがスッパリわかる 2020年2021年 HOTトピックス

|| 特集1 東日本大震災から10年 忘れない・・・3.11

|| 特集2 新しい生活様式がスタート！ ウィズコロナで変わる日本

|| 特集3 夢で見た未来の世界が現実！ 5Gで変わる暮らしと産業

|| 特集4 都道府県・市町村対抗！ おらが地元がナンバーワン!!

データと勝負!!全十一番

|| 政治・社会

|| 生活

|| 経済・産業

|| 自然・科学

|| 文化・歴史・スポーツ

|| 県勢一覧

|| 日本地図



)) 商品概要 ((

体裁・頁数：A4判、本体256頁

発売日：2020年11月25日

全国の主要書店で販売

定価：1,600円＋税

